

ペットのいろいろ20年



あいがん
愛玩動物 から
はんりよ
伴侶動物 へ

20年前と比較するとペットの存在価値が大きく変化しています。現在は一方的可愛がるだけの「愛玩動物」としてではなく、「伴侶動物」「家族動物」などと表現されるようになりました。

この表現からもわかるように、犬や猫を「ペット」としてではなく家族の一員として大切にしています。



現在のペットは
高度医療!



20年前には考えられなかった、高度医療の動物病院が増えています。

PET-CT や **MRI** など、

最先端の検査機器を完備!

循環器・整形科・眼科・腫瘍科など、人間の総合病院と変わらない診療科が揃っており、手術の設備等も全て人間用のものが使用されています。20年前と比較するとペットの存在価値が大きく変化しており、病気になった時には飼い主はいくらお金を出しても救ってあげたいと考えています。



保険会社の数

約 **15** 社

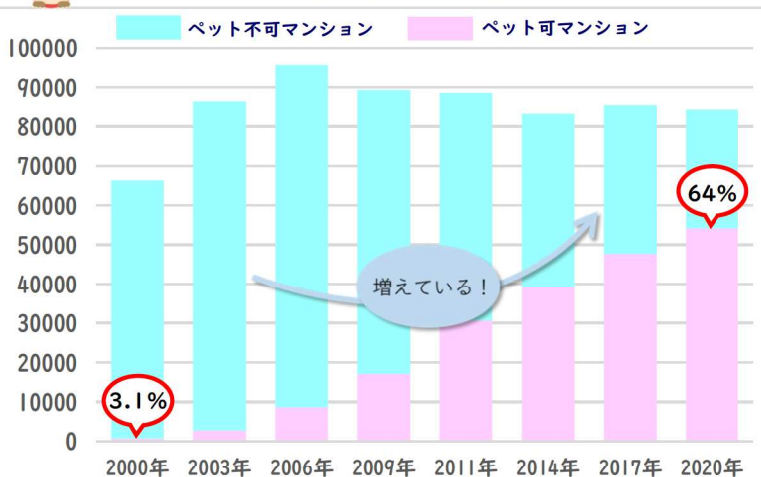
どんな保険が人気?

保障限度が高めなこと!

保険料の値上がりが少ない!

サポートが充実!

近年のペット可
マンション戸数



ペット可の賃貸住宅
増加中!

なぜ現在、多くの日本人がペットと暮らすことを希望しているのでしょうか?

世論調査によればペットを飼う理由として...

安らぎが生まれる (55%)

和やかになる (45%)

子供が豊かに育つ (41%)

など...があげられます。

この数字を見ると多くの人がペットに「癒し」を求めている実像が見えてきます。